

都市水脈の顕在化

—福山市中津原浄水場の可視化再編計画—

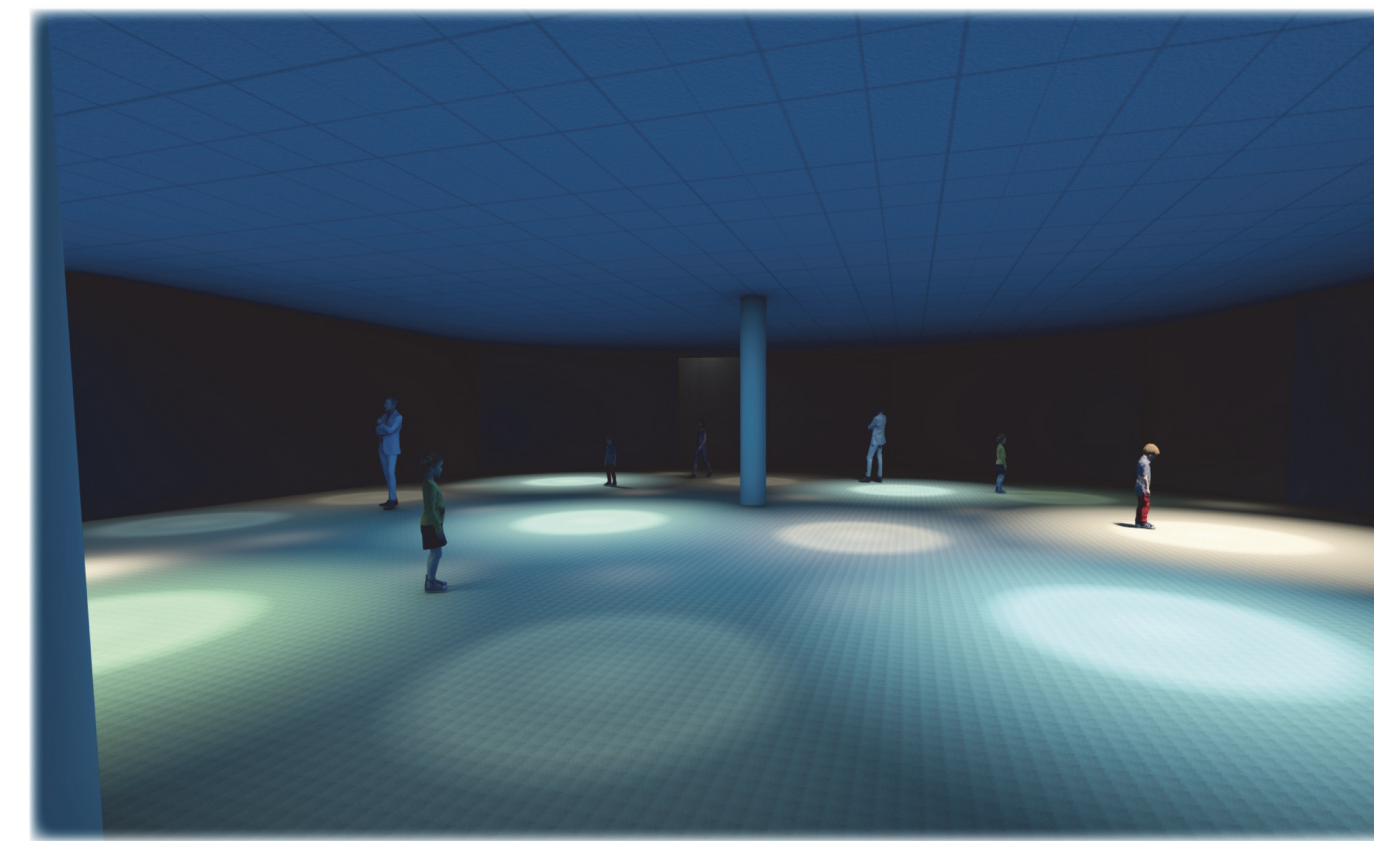
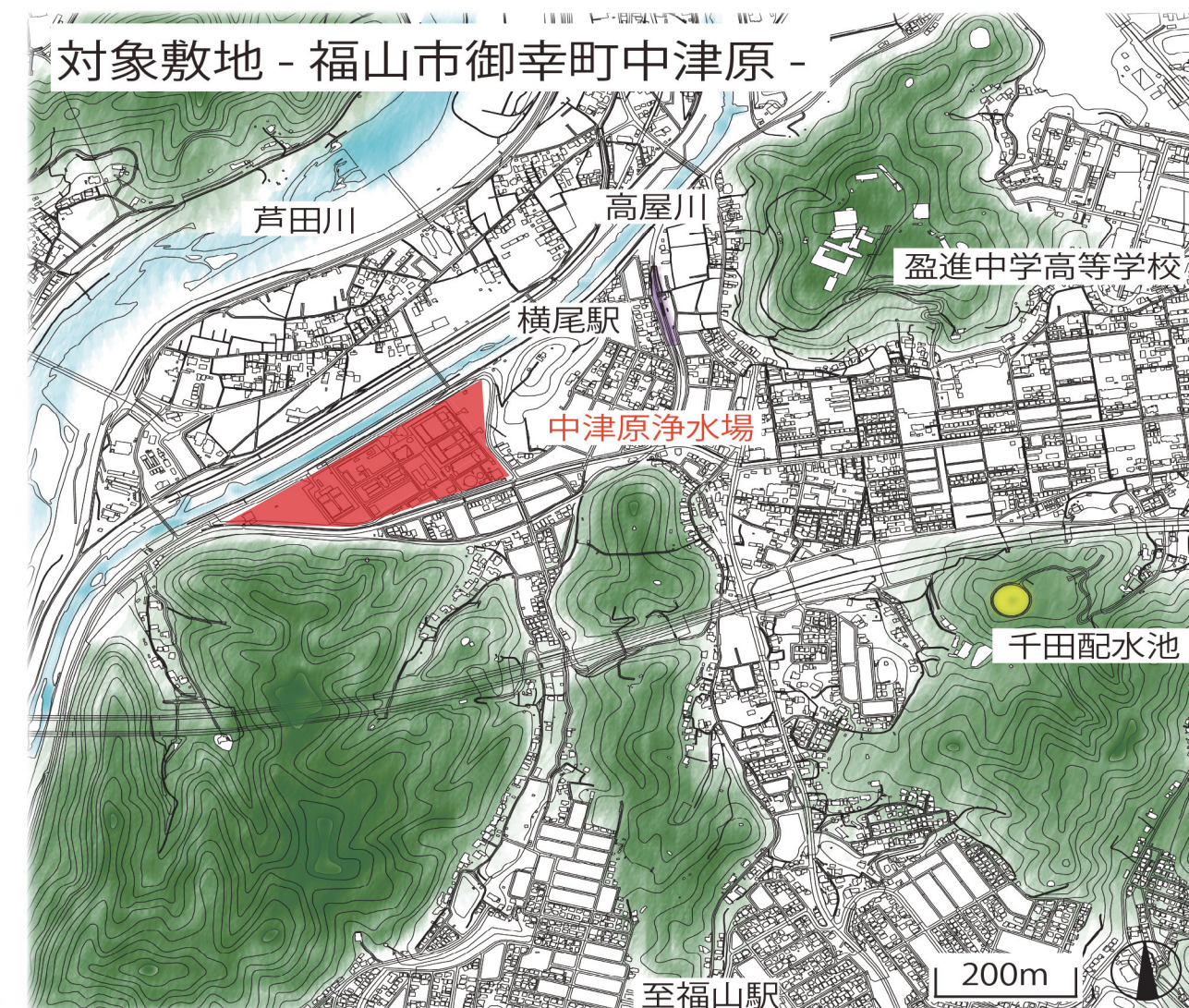
01. 背景・目的

本計画は、福山市の51.6%の上水を賄っている中津原浄水場を対象に水のインフラを可視化する複合施設を提案する。現在の中津原浄水場の見学会では、浄化される過程や機械の動きが構造的に隠れて仕組みを実感しづらい状況です。また、福山市の51.6%を賄う重要施設でありながら、地域住民との関わりは限定的である。そこで、水の浄化の過程や機械の動きを露出・強調させて体感できる空間を構成し、“水の旅”を感じられる環境をつくる。

中津原浄水場の上に地域に開かれた複合施設を設計し、浄水場を編成する試みである。沈殿池や急速ろ過池等の浄化プロセスを可視化し、水の循環を体感できる空間設計する。周辺地域日は住宅街や保育所、駅が密集している場所であり地域住民や見学者が水の価値や環境とのかかわりを再認識する場として、インフラを風景に溶け込ませ、学びと憩いの拠点へと編成し水のインフラを顕在化させる。

02. 計画敷地 - 中津原浄水場

福山市御幸町の中津原浄水場を対象敷地とする。中津原浄水場は、福山市の51.6%の上水を賄い、急速ろ過池を利用する浄水場である。中央管理センターがあり、福山市内の6つすべての浄水場をリアルタイムで管理している。中津原浄水場で浄化した後、千田配水池に渡り地域に送られる。敷地内に水質管理センターが併設されており、水質検査や実験を行うことで地域の水道水の安全性を確認している。中津原浄水場は工業用水の処理をしており、上水とは処理の過程や用途が異なる。工業用水は工場で使用するため沈殿処理のみ行うが、上水は水道水で使用するため厳格な処理をする。



中津原浄水場資料室・ラボ



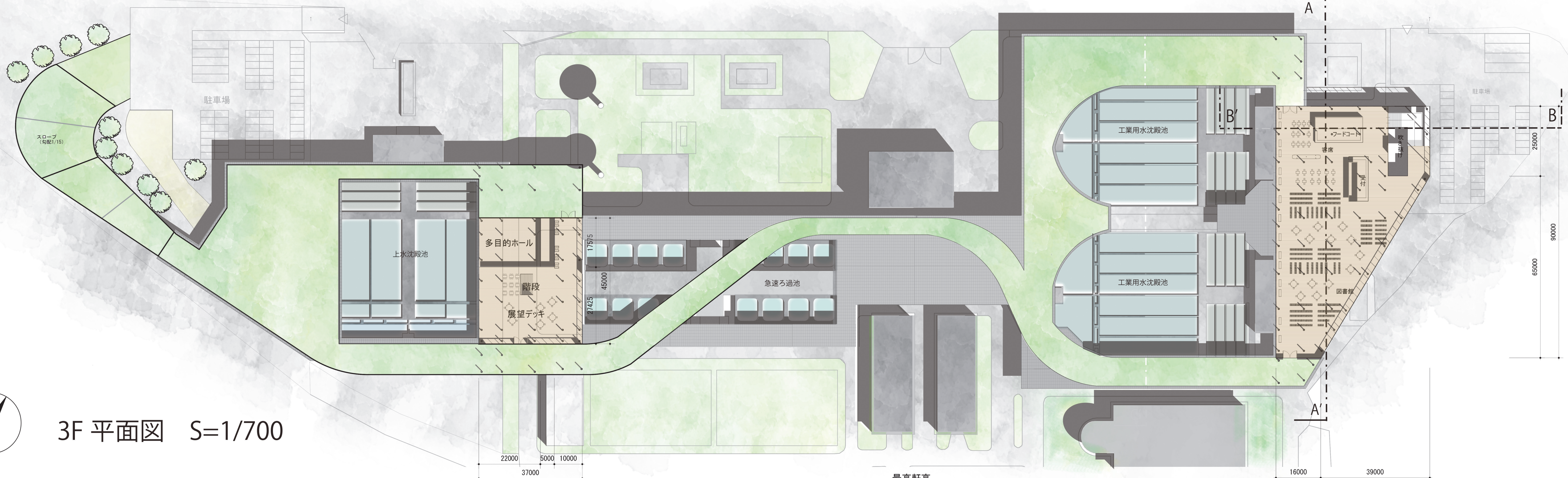
見学通路



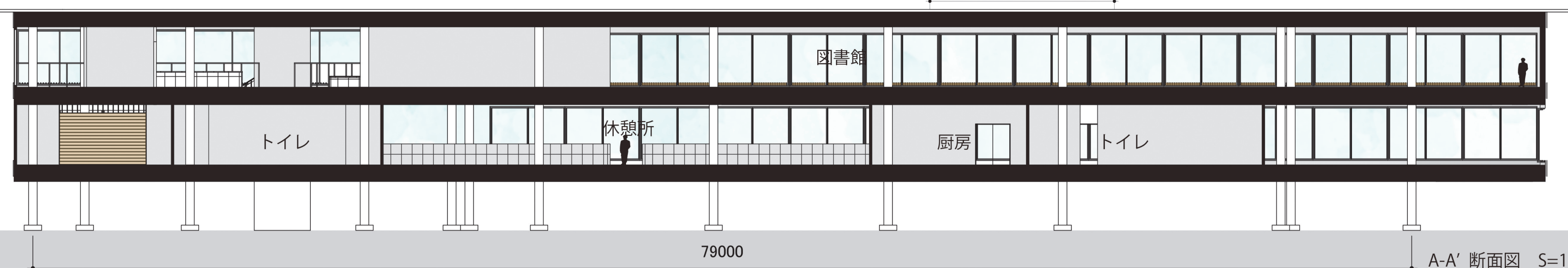
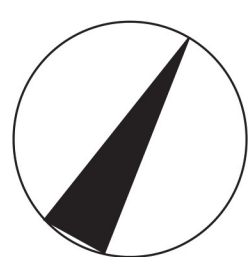
浄水場歴史資料室



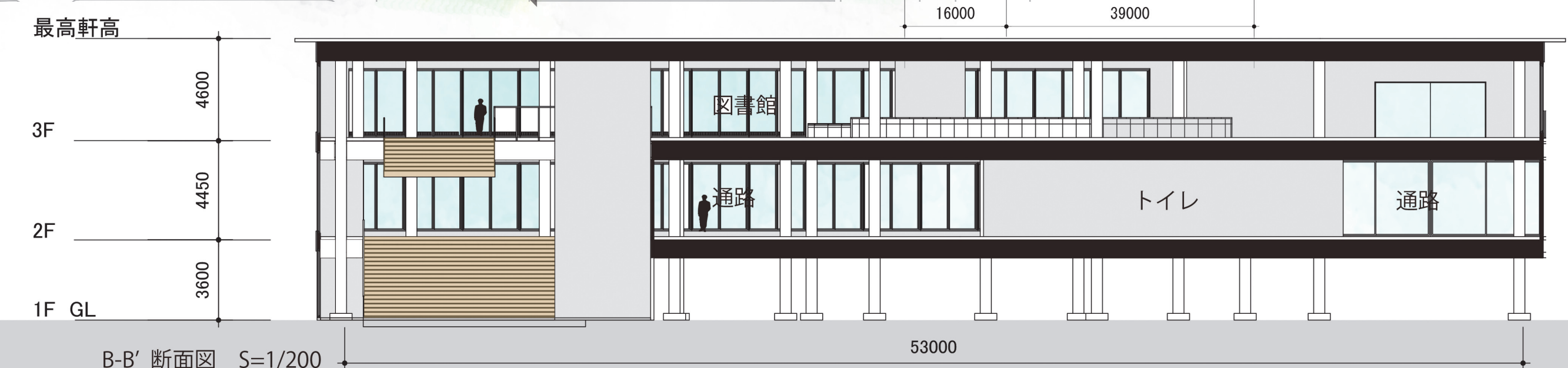
遊歩道



3F 平面図 S=1/700



A-A' 断面図 S=1/200



B-B' 断面図 S=1/200

